

第4回東庄町障害者地域自立支援協議会（内容）

日時：平成20年11月20日（木）

13：30～

場所：東庄町保健福祉総合センター

1 開 会 高木係長（事務局） 13：30

2 あいさつ 保立会長

3 議題 進行：保立会長

（1）東庄町障害者就労に関するアンケート調査結果報告 説明：高安

* 事前に配布したアンケート調査結果表により報告

（2）東庄町障害者就労に関する協議

委員10：就労希望者が多かれ少なかれ、回答結果に出ているため、その方に対して、どのように対応していくのか協議を進める必要がある。通勤の問題もあるので、地域の中で、就職を支援できれば良いと思う。

会 長：協議会のバックアップで一人でも（多く）就職につなが事ができれば。町の産業（農業）とか商工会のような身近なところへ障害者就労に対するPRをしていくことも良いのでは。

委員10：アンケートの結果に、就労以外の課題も挙がっていたので、拾い上げて協議をしていく必要があると思う。

委員05：就労している人は少ないと予想していたが、予想より多かった。施設に入れない人がたくさんおり、そのような人を育てないといけない。施設（精神）が少ないから、もっと地域に施設があれば・・・。自立支援法施行3年だが、状況は変わっていない。環境が変わらないから、働きたいと思わない。体が悪いなりに、訓練施設に通わなければ就労に結びつかないと思う。

会 長：アンケートの回答結果でも、環境整備を希望していると言えると思う。

委員20：3障害共通の問題の洗い出しが必要。以前、畜産農家（養豚）に就職した人がいたが、単純作業が合わず、離職したことがあった。就職には車

の運転が可能である事が条件となることが多い。地域の施設について、デイケアなど既存のサービスの活性化が必要。就労については、前途多難ですが、少しずつでも前進させたい。

委員08：一般企業への勤務者が多く驚いた。企業側が障害者雇用に関しての意識が変わらないと（国の形態・法定雇用率に対する罰則等）、支援をしても変わらないと思う。就労先については、仲間もいるし共同作業所が良いと思っており、期待している。しかし、定員が少ないため、共同作業所の定員を増やしてほしい。近場（東庄町内）で働きたいとの気持ちがあるので、商工会を、メンバーに入れ理解を求めては。

委員06：養護学校から一般企業に就職する人は6割くらい。しかし、様々な理由により（いやな思いをして）、離職して家にいる人は、2度目は就職をしない人が多い。このような人に対する支援をしてはどうか。

委員15：香取市就労部会メンバーであり他市町村の取組も見ている。景気低迷により離職も多い。法定雇用率については、地域にある会社は支社など多く、支社レベルではクリアしていなくても、本社でクリアしているケースもある。企業側と福祉関係者との意識のズレもある。東庄町での取組方法として、農業関係にPRとの事でしたが、通年で雇用できるかが問題。雇用側には需要と供給の差があるが、少しずつ詰めて行き、個人に対する就労に対して、つつこんだ形で支援しては。商工会を委員に加え幅を広げてみてはどうか。

委員05：アンケート結果を詳しく、明確に課題を出す。就労関係を追及していくことも必要だが、他にも、優先して協議を行う必要性をもった課題もあると思われる。

委員04：アンケート結果を公に周知してはどうか。

委員05：実態調査の結果を兼ねた勉強会を協議会で企画してはどうか。症状が重く就労に結びつかない人に対する支援の検討も必要であると思う。

会 長：今後、就労に関する課題に限らず、検討課題を整理した上で、次回、協議会を開催したいと思います。

4 その他 【担当者（高木係長）より連絡事項】 現在、町障害福祉計画の改定業務を行っており、計画策定に際しまして、当協議会において、意見聴取を行いたいと考えておりますので、今後ご協力をお願いいたします。

5 閉 会 高木係長（事務局） 15:45

その他(事務局連絡事項)

アンケート結果について、今回の協議会において、公に周知してはとの提案があり、別紙の内容にて広報1月号に掲載いたします。投稿期限、スペース等の兼ね合いにより、アンケート結果について、多く紹介できず申し訳ございません。